

2023年8月4日

2024年3月期 第1四半期 決算説明資料



Meiho Facility Works Ltd.
Architecture, Interiors, Planning, IT, M&E Engineering, Project Management

明豊ファシリティワークス株式会社

2024年3月期 第1四半期 決算サマリー

2024年3月期 第1四半期 決算サマリー

1 Q

◆ 2023.04 「脱炭素CM部」新設

- 専門技術者集団である「脱炭素CM部」を立ち上げ、DXを活用した革新的なアウトプットを開発する等、CM（発注者支援事業）として顧客側に立つ脱炭素化支援のサービスレベルを更に向上させる

◆ 2023.04 「CM選奨2023」受賞

- 優秀賞 : 千葉商科大学付属高等学校 新校舎整備計画CM業務
※脱炭素社会に向けたZEB Readyの達成
- CM選奨 : 森永製菓株式会社 鶴見サイト再構築CM業務
- CM選奨 : 株式会社プラニック プラスチックリサイクル工場建設プロジェクト

◆ 2023.06 国際コンストラクションプロジェクトマネジメント協会主催の「ICPMA Awards 2023」Overall Project Achievement 受賞

- 株式会社プラニック プラスチックリサイクル工場建設プロジェクト

◆ 第1四半期累計期間における売上高は、過去最高であった前年同期実績同等

◆ 第1四半期累計期間における受注高は、発注者の新規案件への意思決定が昨今の大きな物価変動や建設業界の人材不足に配慮していることから、過去最高だった前年同期実績に対し、当初想定通り下回る

※当社ホームページにて「サービス・事例 実績」「受賞 実績」を掲載しております<https://www.meiho.co.jp/ir/news/>

2024年3月期 第1四半期 決算概要

1 2024年3月期 第1四半期 決算概要 ①PL

第1四半期累計期間における売上高は、過去最高であった前年同期実績と同等となりました。
優秀な人材の確保を目的として期初から実施した社員の処遇向上による人件費の増加と、DXの更なる推進を目的とした一部外部リソースの活用による経費の増加等によって、当第1四半期累計期間の経常利益は前年同期実績を下回る結果となりました。

(各項目を円単位計算後、百万円未満切り捨て)

	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	対前年同四半期	
			増減額	増減率
売上高	996	997	1	0.1%
売上総利益	530	487	△42	△8.1%
営業利益	180	113	△67	△37.1%
営業利益率 (%)	18.1	11.4	—	△6.8P
経常利益	181	114	△67	△36.9%
四半期純利益	126	79	△46	△37.0%



2 2024年3月期 第1四半期 決算概要 ②BS

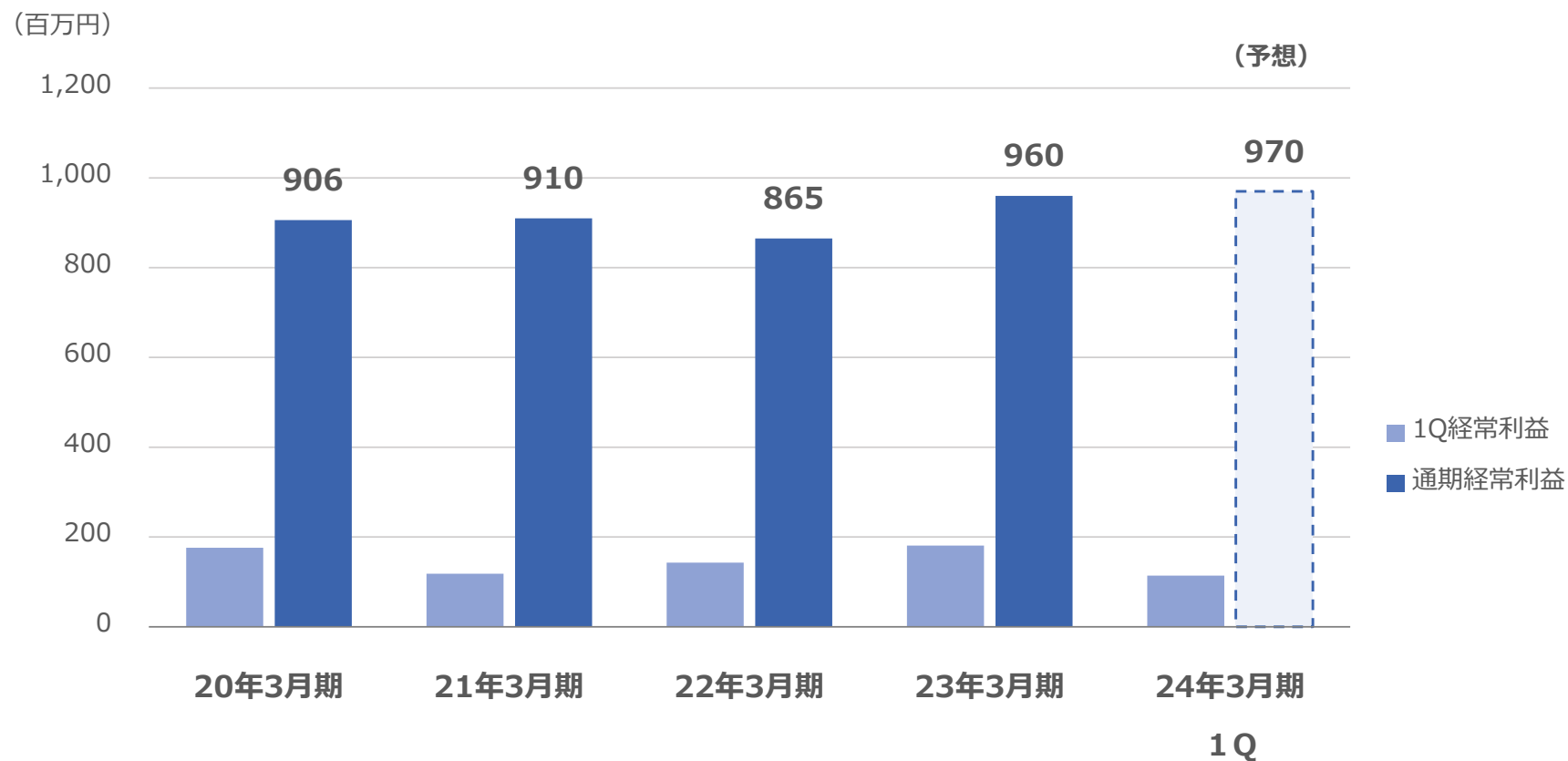
前期に計上した売上債権の回収等により売上債権が減少し、現金及び預金が増加しております。

(各項目を円単位計算後、百万円未満切り捨て)

	2023年3月期	2024年3月期 1Q	対前年度末	
			増減額	増減率
資産	6,620	6,208	△412	△6.2%
(現金及び預金)	1,598	2,206	608	38.0%
(売上債権)	3,720	2,690	△1,030	△27.7%
負債	1,996	1,884	△111	△5.6%
(従業員賞与引当金)	478	585	107	22.4%
(未払税金)	409	116	△293	△71.7%
純資産	4,624	4,323	△300	△6.5%
(自己資本)	4,607	4,310	△297	△6.4%

3 経常利益の推移

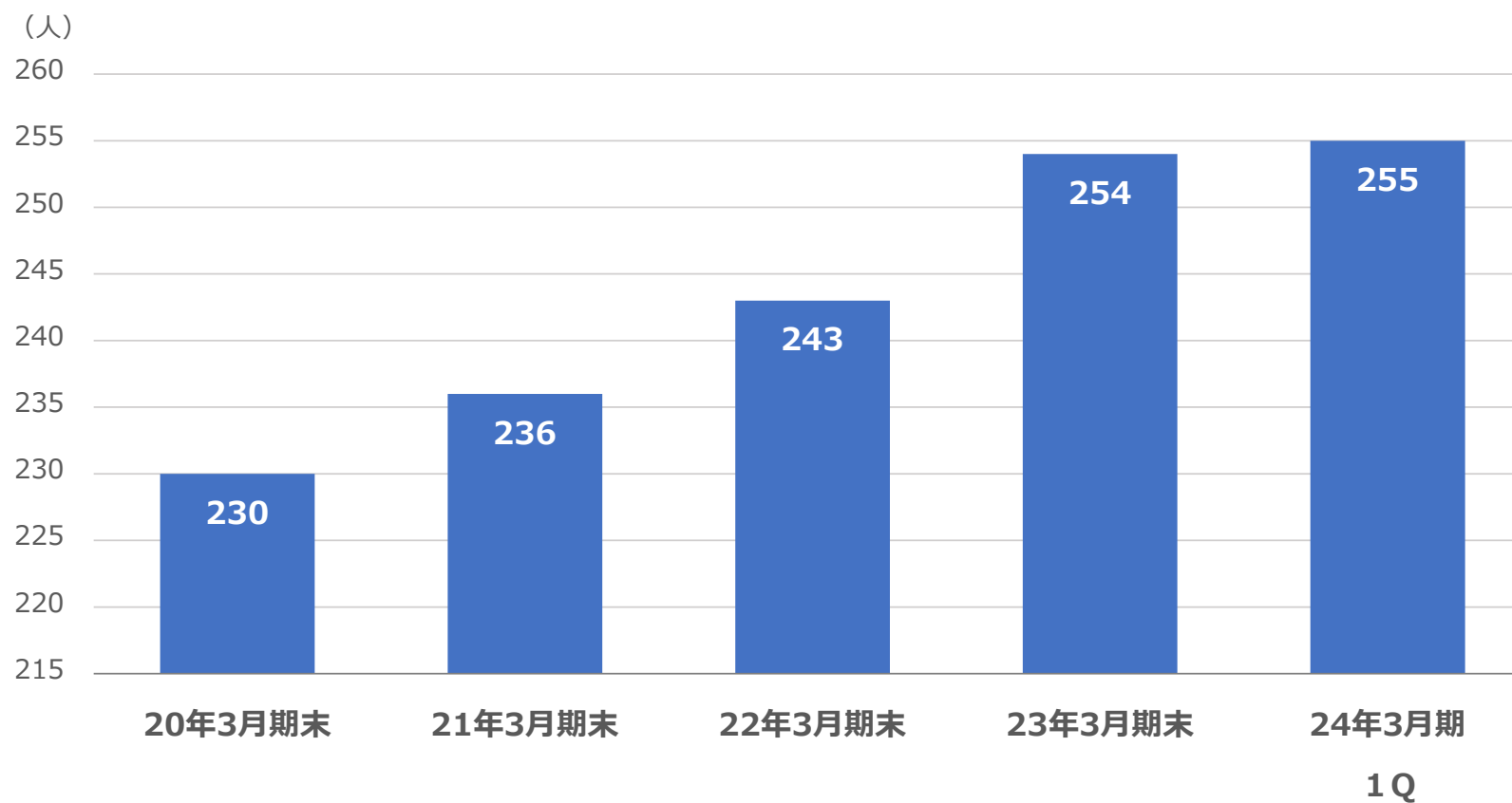
通期経常利益は、体制強化及び社員の処遇向上並びにDXの更なる推進に向けた費用の増加と、発注者側の建設投資が慎重になることを保守的に想定した結果、下記のとおり前年同等を見込んでおります。



(表示単位未満切り捨て)

4 社員数の推移

第1四半期末の従業員数は、前事業年度末に対し1名増加の255名となりました。
引き続き、優秀な人材の採用に取り組んでまいります。



(注) 役員および契約社員、派遣社員等を含む

2024年3月期 第1四半期 各セグメント状況

1 オフィス事業

- ・ オフィス移転の可否や働き方改革の方向性を検討する構想段階の意思決定から、プロジェクト立ち上げ後の「設計～調達～移転」に至るまでをワンストップで支援

－ 動向 －

- 大企業のグループ統合や中央官庁における「働き方改革」支援及び執務環境整備プロジェクトの引き合いが増加
- 外務省のオフィス改革に関するコンサルティング業務（2023年度分）を公募にて選定される等公共分野の支援も増加
今後は、他の省庁でもオフィス再構築の動きが進むことが予測され、さらなる引き合いの拡大が期待される
- 景気の先行きが不透明な中で、発注者側の建設投資や設備投資判断について慎重な姿勢が続いていることから売上高は前年同期比21.2%減

2 CM事業

- ・ 建物の新築・改修や設備更新、脱炭素化や環境施策検討等に関して、基本計画策定からプロジェクトの早期立ち上げを支援
- ・ 調達・設計・施工の各段階における品質管理やスケジュール短縮・コスト縮減等、顧客の事業目的実現を支援

－ 動向 －

- 多くの地方自治体庁舎や国立大学等の公共施設におけるCMプロジェクトを受託
 - 国土交通省 2023年度地方公共団体における入札契約改善に向けたハンズオン支援業務公募にて10年連続選定
 - ※ その他、当社ホームページにて一般公募で受託した主な公共CM案件を掲載しております
<https://www.meiho.co.jp/notices/>
- 民間では、大型研究施設・学校法人施設等の再構築や、大規模商業施設等の電気・空調・衛生設備更新等の実績を重ね、既存顧客のみならず新規顧客からの引き合いも増加
- SDGs に対する関心が高まる中で、4月に新設した脱炭素CM部を中心に、顧客の脱炭素化施策を支援。ZEBやLEEDなどの認証取得においても基本計画段階からの引き合いが増えたこと等から、売上高は前年同期比6.7%増

3 CREM事業

- ・ 大企業・地方自治体・金融機関向けに、保有資産の最適化を支援
- ・ MPSなどを活用した多拠点施設同時進行プロジェクトの一元管理、脱炭素化のための機能最適化更新等を支援

－ 動向 －

- 新規顧客を含む大企業や自治体・金融機関向けを中心に、プロジェクトの進捗状況を可視化し、工事コストやスケジュール管理及び保有資産のデータベース化による資産情報の一元管理とデータ活用によって効率的なプロジェクト管理を提供
- ESG/SDGsや脱炭素化の実現に向けた引き合いが増加
- 拠点及び施設を多く保有する既存顧客における投資計画や予算等の影響により減少し
売上高は前年同期比22.0%減

4 DX（デジタルトランスフォーメーション）支援事業

- ・ 10年以上の運用実績を踏まえて自社開発したクラウドシステム（※）で顧客の働き方や施設の維持保全等に関するDX化を支援

（※）

- ・ MeihoAMS®：従業員一人ひとりのアクティビティを可視化・定量化して業務効率改善や生産性向上につなげるマンパワーシステム
- ・ MPS®：新設プロジェクト管理情報や施設の維持保全に関する情報を可視化・データベース化することで、効率的なプロジェクトの推進や計画的な維持保全及び「過去からの学び」を目的とする、情報の一元管理システム

－ 動向 －

- 更なる顧客のDX化支援を推進するため、2023年1月にDX支援事業を全社横断型で推進する「DX推進部」を新設したことに加え、独自システムに更に機能を追加するシステム開発等を行い受注拡大に取り組む
- DXサービス事業開始3期目となる当第1四半期累計期間は、多くの引き合いを頂き売上高は前年同期比211.3%増

2024年3月期 業績予想

2024年3月期 業績予想

現時点における受注残は、過去最高であった前期実績を上回っており、第2四半期累計期間の経常利益は
今期戦略的に増加させた人件費及び経費を吸収し、期初予想及び前年同期実績を超えるよう取り組んでおります。
ただし発注者の建設投資の変化等については、今後も引き続き慎重に対応してまいります。

(各項目を円単位計算後、百万円未満切り捨て)

	2023年3月期		2024年3月期（予想）		対前年同期比（通期）	
	上半期	通期	上半期	通期	増減額	増減率
売上高	2,175	4,761	2,158	4,800	38	0.8%
営業利益	462	958	410	970	11	1.2%
経常利益	463	960	410	970	9	1.0%
当期純利益	319	651	284	670	18	2.9%
自己資本当期利益率 （ROE）	—	14.7%	—	14.1%	—	△0.6 P
1株当たり当期純利益	—	56.53円	—	57.88円	1.35円	2.4%
年間配当金	—	31.50円	—	32.00円	0.50円	1.6%



ESG/SDGsへの取組み

ESG/SDGsへの取り組み

当社は企業理念のもと、持続可能な社会の実現に向けて社会課題の解決を目指しています。
また、「環境CM方針」を定め、発注者支援事業を通じて地球環境への配慮に貢献し、ESG/SDGsの視点及びDXを活用した事業創造による新たなCM需要を創出してまいります。

企業理念 = 「フェアネス」「透明性」「顧客側に立つプロ」



※当社ホームページにて「サステナビリティ」基本方針を掲載しております <https://www.meiho.co.jp/corporate/sustainability.html>



Meiho Facility Works Ltd.
Architecture, Interiors, Planning, IT, MEP Engineering, Project Management



Meiho Facility Works Ltd.

Architecture, Interiors, Planning, IT, M&E Engineering, Project Management

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合がありますことをご了承ください。

